

奄美海上保安部便り 第77号

- ・第77号は2025年9月から2025年11月までの活動状況などを掲載しております。
- ・奄美海上保安部ホームページはこちら <https://www.kaiho.mlit.go.jp/10kanku/amami/>



4機関合同海面救助訓練

9月2日、名瀬港において、マリンレジャーによる海浜事故や岸壁からの海中転落事故等に備えるため、4機関合同（奄美海上保安部、奄美警察署、大島地区消防組合、奄美少年自然の家）で、海面救助訓練を実施しました。



クレードルを使用した引き揚げ



各機関所有の救助資器材説明



水上オートバイによる救助訓練



愛します！
守ります！
奄美の海！

引き続き、「目指せ、海上保安官！」のコーナーで、海上保安官からのメッセージを掲載していますので、「海上保安大学校」、「海上保安学校」へ入学を希望される受験生は是非参考にしてください。

お問い合わせ先 奄美海上保安部 管理課
TEL 0997-52-5811



©JCGF

沖永良部消防との合同救難防災訓練

9月7日、巡視船「あまみ」の沖永良部島入港にあわせて、伊延港において、乗組員と沖永良部消防による合同救難防災訓練を実施しました。

訓練では、急患搬送訓練のほか、災害発生時等に巡視船「あまみ」を使用した住民島外避難を想定し、船内への島民誘導訓練等を行いました。



防災機関との自然災害対応合同訓練

9月29日、名瀬港において、防災関係機関（奄美海上保安部、陸上自衛隊奄美駐屯地、奄美警察署、大島地区消防組合、九州電力送配電奄美配電事業所、大島支庁、奄美市）により、自然災害対応合同訓練を実施しました。

訓練では、台風接近に伴う豪雨により土砂崩れが発生し道路が寸断、孤立した集落で停電、断水が発生したことを想定し、巡視船「あまみ」により、防災関係機関の人員及び資機材等を孤立集落まで搬送する訓練を実施しました。

消防車両及び「あまみ」クレーンを使用した資機材等搭載訓練



警救艇を使用した孤立集落への資機材等搬送訓練

秋季安全推進活動 ~漁船の事故と釣り中の事故ゼロを目指して~

「秋季安全推進活動」期間（10月1日～10月31日）にあわせ、9月30日、10月1日、奄美市、龍郷町、大和村の各漁協、釣具店、スーパー等や釣り人に対して、漁船の事故防止や釣り中の事故防止用リーフレットを配付し、海難防止啓発を行いました。



「安心」と「安全」をモッティク（届ける）ど！ ～請島で巡視艇「いそなみ」一般公開～

9月29日、巡視艇「いそなみ」は請島池地港の港湾調査入港にあわせ、住民への一般公開を行い、船内見学とともに潜水訓練の展示を行い、また、池地中学校生徒1名に対する職場体験学習を行いました。当日は18名の住民が見学に訪れ、楽しんでいただき、職場体験の中学生も海上保安庁へ強い関心を示していました。



■ 第2回古仁屋高校2年生『職場体験学習』

10月7日、古仁屋高校2年生3名（前回の職場体験学習対象者と同じ。）の希望により2回目の職場体験学習を実施しました。

今回の職場体験学習では巡視艇「いそなみ」において、機関の起動やロープ学習等船艇職員の業務を中心に実施し、当庁への受験方法、学校生活等の説明も行いました。



航海計器の説明



主機の起動体験

■ 薬物乱用防止教室～わきや島の海を守り、わきや島から日本を守ろう！～

10月8日、加計呂麻島の伊子茂小中学校において、管内三島（加計呂麻島、請島、与路島）小中学生の集合学習（小中学生27名、教員12名）が行われ、その中で「薬物乱用防止教室」の依頼を受け、古仁屋海上保安署職員及び巡視艇「いそなみ」乗組員が講師となり、奄美近海での密輸事件、薬物中毒による心身への影響など、薬物の怖さに関する講習を行いました。



■ 小学校の合同社会科見学

古仁屋海上保安署では、校外学習社会科見学の依頼を受け、10月9日と11月20日、管内小学校3、4年生への巡視艇「いそなみ」見学、海上保安業務の説明等を行いました。

◆10月9日 諸鈍小学校、伊子茂小学校、西阿室小学校（児童13名、教員4名）



◇11月20日 篠川小学校、油井小学校、嘉鉄小学校（児童7名、教員5名）



奄美群島排出油等防除協議各支部総会及び定例訓練

10月15日、名瀬第二地方合同庁舎及び名瀬港において、10月16日、喜界町役場及び湾港において、10月17日、伊仙町役場及び亀徳港において、「排出油等防除協議会」奄美支部、喜界支部及び徳之島支部の各総会が実施されました。

各総会後には、(財)「海と渚環境美化・油濁対策機構」専門家による油防除に関する講義が行われ、その後、実際に各会員が事案発生時に役割や初動対応を確認しつつオイルフェンス展張訓練等を実施しました。



奄美支部訓練



徳之島支部訓練



喜界支部訓練



漁場油濁被害対策専門家島瀬氏の講義

■ うみまる、激走！～奄美市民体育祭 公式キャラクター50m走～

11月2日、名瀬運動公園陸上競技場において「奄美市民体育祭」が開催され、その中で、市制施行20周年記念特別プログラムの「奄美を守る・盛り上げる！公式キャラクター50m走」に「うみまる」が参加しました。順位は惜しくも2位でした。



■ 「土木フェスタ in あまみ」

11月16日、名瀬港観光船バースにおいて、鹿児島県建設業協会奄美支部主催の「土木フェスタ in あまみ」が開催され、奄美海上保安部もブースを出展しました。

会場には多くの子供達が訪れていただきました。



157周年灯台記念日関連行事

◇灯台写真展 in 奄美

11月13日～16日、アマホームプラザ（奄美市市民交流センター）において、「157周年灯台記念日（11月1日）の関連行事として、灯台写真展を開催しました。

灯台の歴史、奄美群島内の灯台、明治29年に設置された曾津高崎灯台の特集等のパネルの他、灯台のペーパークラフト等も展示しました。会場には4日間で180人の見学者が訪れ、楽しんでいただきました。



◇多年にわたる灯火監視協力に対する感謝状の贈呈

11月1日の灯台記念日にあたり、奄美海上保安部管内で航路標識の灯火監視協力者として永年にわたり御協力を頂いている2名様に感謝状の贈呈を行いました。

海上保安庁長官表彰

深田 サヨ子 様（笠利崎灯台）

武田 哲雄 様（大熊港D防波堤灯台）

「灯火監視協力者」とは

灯台等航路標識の灯火が夜間正常に点灯しているかを確認して異常時には保安部に通報していくだけのように、保安部長が委嘱している個人又は団体の方々で、奄美海上保安部管内では航路標識35基中32基の監視協力(個人27名、団体3 計30)を得ております。

■ ターニケット講習

10月14日、16日、鹿児島航空基地機動救難士3人を講師に迎え、奄美海上保安部、巡視艇「いそなみ」において、ターニケット（止血帯）講習を実施しました。



■ 巡視艇「いそなみ」レンジャー・救急合同救難訓練

10月15日、16日、能力向上、連携強化のため、鹿児島基地機動救難士3名と巡視艇「いそなみ」潜水士4名によるレンジャー訓練と救急訓練を実施しました。



■ 令和7年度救難技術審査会 奄美地区予選会

10月29日、奄美海上保安部において、「令和7年度救難技術審査会本部審査会」に出場する代表1バディを決めるため、巡視船「あまみ」、巡視船「かいもん」、巡視艇「いそなみ」による奄美地区予選会を実施しました。



「いそなみ」バディ



「かいもん」バディ



「あまみ」バディ

あまみエフエム（77.7MHz）に生出演



◇9月4日、交通課職員があまみエフエムに生出演し、10月から始まる「秋季安全推進活動」をテーマに、今年のマリンレジャー事故事例を紹介し、ライフジャケット着用の重要性や船舶操船時の注意事項などを周知しました。



◇11月6日、警備救難課と交通課職員があまみエフエムに生出演し、警備救難課は「自然豊かな奄美の海を守る取組み」について、交通課は、11月13日から開催の第157周年灯台記念日関連行事である「灯台写真展」について、PRを行いました

海難の発生状況

9月から11月の間、管内では、4人の人身事故（2人が海浜事故、2人は船内での負傷事故）が発生しました。

◇大和村国直海岸溺水者

事故者（22歳、男性）は、9月16日1745頃、大和村国直海岸の沖15m付近において、友人4人とスノーケリング中に、マスク内に侵入した海水を鼻に吸込みパニックとなったことから、友人に助けを求め、友人が陸に搬送を試みていたところ、異変に気付いた救助者が陸まで搬送し、119番に通報しました。

駆け付けた大島地区消防の救急隊が現場でバイタル等の確認を行い、異常がないことから、病院へは不搬送となりました。

◇徳之島平土野港セメント運搬船乗組員負傷

事故者は、11月4日0850頃、徳之島平土野港に着岸中、陸上のフランジと本船のホースを接続する作業を実施中、人差し指を挟み怪我をしたものです。その後、ドクターへりで県立大島病院へ搬送され、その後、鹿児島の病院へ移送されました。



◇奄美市笠利町佐仁海岸貝採り者転倒

事故者（69歳、女性）は、11月8日0100頃、姉と共に佐仁海岸で貝採り中、岩場のくぼみに足をとられて転倒して痛くて動けなくなっこなったことから、姉から事故者の夫に携帯電話で救助を求め、到着した事故者の夫と姉で車まで運ぼうとしましたが、困難であり、潮が満ちてくると危険だと判断し、119番にて救助要請を行ったものです。

0154 消防及び救急隊員が到着し、担架で救急車まで運ばれ、救急車により県立大島病院に搬送されました。

医師による診察の結果、右大腿骨骨折と診断されました。



◇喜界島沖操業漁船負傷事故

事故者（59歳、男性）は、11月25日0630分過ぎ、漁船（18トン、3人乗り）でソディカ漁を終え、採ったソディカを移動させるため倉庫内へ降りようとした倉庫内のパイプに足をかけたところ、誤って足を滑らせ、そのまま、倉庫内に転落し、転落した際に後頭部を倉庫内のパイプにぶつけ負傷したものです。

負傷時に出血はなく、自ら甲板上に上がり、船長達に傷口を見てもらい、包帯やガーゼ等で応急処置をした後、治療のため、最寄りの早町漁港（喜界島）向け航行し、26日0730頃に早町漁港に入港しました。

入港後救急車により、喜界徳洲会病院に搬送され、負傷部の治療後、念のため28日まで入院となりました。



自己救命策の確保3つの基本



ライフジャケットの常時着用



連絡手段の確保



118番の活用



奄美海上保安部 古仁屋海上保安署



©JCGF

目指せ、海上保安官！



海上保安官になるためには、「海上保安大学校」または「海上保安学校」の入学試験に合格する必要があります。

海上保安官は、巡視船艇などの海上勤務だけでなく、本庁（霞が関）、管区本部（全国11か所）などでの陸上勤務など、様々な業務を行います。

海上保安官に必要な幅広い知識や技能、特殊な業務を行うための専門的な能力を養成するための教育機関として、幹部職員を育成する「海上保安大学校」と現場第一線の職員を育成する「海上保安学校」において必要な知識、技能を身に着けて現場へ赴任することになります。

海上保安大学校は広島県呉市にあり、本科4年（2学年後半から航海、機関、情報通信に分かれる）、専攻科6ヶ月、研修課3ヶ月の計4年9ヶ月の教育を受けます。

海上保安学校は京都府舞鶴市にあり、一般課程（航海、機関、通信、主計、航空整備）は1年間、管制課程は2年間、航空課程は1年間の学校教育の後約2年間の研修を受けます。

どちらも学校という名が付いていますが、入学と同時に国家公務員となり、毎月約20万の給与が支給されます。

両校ともに全寮制で、規則正しい団体生活を通して、海上保安官に必要な正義仁愛の精神を身に着け、リーダーシップ、チームワーク、気力、体力の充実を図っています。

次のページから「現役海上保安官からのメッセージ」を掲載しています。
受験のための準備など役立つ情報が沢山あるのでぜひご覧ください！



現役海上保安官からのメッセージ

これから海上保安官を目指す高校生の皆様のために、奄美海上保安部、古仁屋海上保安署で勤務している若手海上保安官からのメッセージです。

- 1 氏名、年齢、出身高校、現職、入庁年月
- 2 海上保安官を目指したきっかけ
- 3 受験のための準備
- 4 学校の思い出など
- 5 これから海上保安官を目指す高校生の皆様へ一言

1 富山 雄太 23歳 宮崎県立宮崎南高等学校 巡視艇いそなみ 航海士補 R2.4 入庁

2 海上保安官を描いた映画「海猿」を見て、大好きな海で人命救助をしたいと思い、ずっと海上保安官になりたいと思っていました。海上保安学校しか受験していません。

もともと海上保安大学校を受験するつもりでしたが、潜水士として現場で活躍したい思いがあり、地元で開かれた宮崎海上保安部主催の業務説明会に参加した際に海上保安官の方から、「現場で活躍したいのであれば海上保安学校に行った方が良いよと」アドバイスを頂き、海上保安学校の受験を決めました。

3 とにかく海上保安学校の過去問題をたくさん解きました。試験問題で出題される「空間把握」など、頭の体操のような高校の授業では習わない問題も多いので、とにかく過去問を多く解いて、問題に慣れることを心掛けました。

活用した参考書は「海上保安大学校・海上保安学校への道」です。この参考書は、過去の試験問題だけでなく海上保安学校・大学校の校内案内、海上保安庁の業務内容も書かれており、受験勉強をする上で非常に参考になりました。また、私の高校の先輩二人が海上保安学校へ入校しており、その先輩が実際に私の高校に来て、海上保安学校の生活や受験勉強方法等の話を聞いたり、宮崎の公務員専門学校主催の公務員試験講習にも参加するなどして試験対策を行いました。

4 入学当時は、新型コロナが流行し始めた時で、常にマスク着用で、外出や外泊が制限されるなどとても厳しいものでしたが、その中で、教官方が運動会を開いて下さったりし、今思い返せば、どれも楽しい思い出であり、同期と共に過ごした1年間は何事にも代え難い私の宝物です。

5 海上保安庁といえば「海猿」＝「潜水士」＝「人命救助」というイメージしかありませんでしたが、海上保安学校に入校し、多くを学ぶ中で、人命救助だけでなく、領海警備、密漁などの取締り、海洋調査、船舶交通の安全確保など、多種多様な業務があることを知りました。海上保安官がこれだけ多種多様な仕事を出来るのも海上保安庁の魅力だと思います。

実際私自身、前部署では、密漁の取締りなどの刑事業務に多く携わらせて頂きましたが、現職は、潜水士(海猿)が配置船に乗っているため、潜水士の活動支援や人の命を助ける救難の業務をメインに携わらせて頂いています。海上保安官である以上、様々な業務に柔軟に対応していくかないといけないため、毎日が勉強の日々で、非常にやりがいのある仕事だと感じています。
是非、海上保安官として日本の海と一緒に守って行きましょう！

- 1 山本 海太郎 22歳 鹿児島県立沖永良部高等学校 巡視船あまみ 航海士補 R5.4 入庁
- 2 災害現場等で活躍しているのを見て「カッコイイ」と思い、入庁を希望しました。
- 3 東京アカデミーの参考書をひたすら繰り返し解いて勉強しました。
- 4 試験と訓練が重なることが多くきつい時もありましたが、初めての集団生活だったので楽しい1年でした。
- 5 慣れない試験勉強だと思いますが、努力すれば必ず合格できるので頑張ってください！

- 1 徳元 優斗 26歳 沖縄県立糸満高等学校 巡視船あまみ 機関士補 R4.4 入庁
- 2 海猿という映画の中で、海上保安庁を知り、仕事について詳しく調べていく中で、魅力を受けたから入庁を希望しました。
- 3 公務員の専門学校に通っており、朝は7時から夜は23時近くまで学校に残り、勉強を行いました。過去問をたくさん解くのがお薦めです。
- 4 全国の都道府県からいろいろな人が集まり、皆で多くの訓練やイベントごとを行い、大変なことも、楽しいことも皆で乗り越えたことです。
- 5 海上保安官になるために、勉強や運動などに全力で取り組んでいるところだと思いますが、体調管理が1番だと思いますので、自分のペース、方法をみつけ、体調を崩さないように頑張ってください。そして、皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています！

- 1 志村大樹 22歳 熊本県立熊本農業高等学校 巡視船あまみ 主計士補 R4.4 入庁
- 2 地元が熊本海上保安部の近くで、小さい頃から海上保安庁を身近に感じていたため、入庁を希望しました。
- 3 受験を本格的に始めたのは、高校3年の春頃からです。自分で市販されている公務員の参考書や海上保安庁の過去問を解きつつ、高校生対象の公務員専門学校の夏期講習を受講して、そこで解らないところは質問しまくりました。面接対策は高校の同級生とお互いにしたりして不安な部分を無くしていくように心がけました。
- 4 新型コロナの影響のため、外出規制で自由に外出できませんでしたが、休みの日は同期とサッカーなどをして過ごしたことが良い思い出です。
- 5 海上保安庁の魅力は業務の幅広さだと思います。海猿で有名な潜水士、国際捜査官、機動防除隊など自分の頑張りであらゆる職種に就けるのが魅力です。
いつか一緒に仕事をしましょう！

海上保安官はさまざまな経験を積みながら、自分の適性や希望に応じてキャリアアップを図ることができます。あらゆる分野のスペシャリストとして活躍する道があります。



特別警備隊



機動防除隊



機動救難隊



特殊救難隊



船舶工務官



武器技術官



南極地域観測隊



国際捜査官



ソマリア周辺海域派遣捜査隊



試験研究官



鑑識官



情報処理官



運用管制官



音楽隊



教育機関教官



海上保安官採用サイト

<https://www.kaiho.mlit.go.jp/recruitment/>